



**勝ちたい
気持ち
が
原動力**

山田 茉莉愛
濱崎 姫琉
松田 春夏
須田 風海音
星野 礼登
船木 雄紀士
河野 伊織
奥田 大和
奥山 花蓮
須田 光翼

**Junior All-Japan
Bowling Games 2025 Summer**

2～3面 第15回全日本小学生競技大会
4～5面 第49回全日本中学・高校選手権大会
U22 8th Fukuoka Summer Cup 2025
sponsored by STORM
6面 INFORMATION

今年の夏のジュニアタイトルは、連覇や王座奪還が多く見られました。その一方で、悔しい思いをバネにしてようやく頂点に立った選手も。一人にしか与えられない「チャンピオン」の称号をつかみたい気持ちは、1年後のチャンスまでがんばり抜く原動力になります。この大会を経験したジュニアボウラーたちの成長を願って。



**湖国の感動 未来へつなぐ
わたSHIGA輝く国スポ2025**

ボウリング競技 2025年9月27日(土)～10月3日(金) ラピュタボウル彦根

キャップイー

日本小学生競技大会



小学生特別指導会兼第15回全日本小学生競技大会が8月2日(土)・3日(日)に愛知・稲沢グランドボウル(公競122-064)で開催された。全国から142名の小学生ボウラーが集まり、学年・男女別の6部門に分かれて練習の成果を競った。

奥山花蓮(三重)が3年連続優勝を達成し、河野伊織(香川)と船木雄紀士(新潟)は昨年に続いて優勝を果たした。星野礼登(埼玉)は大会記録を大幅に更新。奥田大和(岐阜)と山田茉莉愛(神奈川)が初挑戦で優勝を果たした。

4年生男子の部

予選前半、中山瑞功斗(愛知)が637をマークした。2位の奥田大和(岐阜)は45ピン差で中山を追った。後半は鳴海奏汰(北海道)が592、西川佳徳(静岡)が622と打ち上げて1・2位に浮上。鳴海、西川、中山、奥田の4名が7ピン差の中でひしめく大混戦となった。決勝戦では奥田が197・190と立て続けに好スコア



選手宣誓は愛知県代表の森島未華選手(左)と藤島澄哉選手

4年生女子の部

前半は石井陽南(東京)が465、山田茉莉愛(神奈川)が463で並んだ。山田は後半1ゲーム目に200を打って逆転すると、石井との差を61ピンまで広げた。決勝戦、1ゲーム目に石井が196とし山田に迫った。35ピン差まで縮められた山田は、苦戦しながらも石井の追い上げを振り切り、7ピン差で優勝を決めた。

開会式で挨拶するJIB
丹羽秀樹会長

5年生男子の部

昨年優勝の船木雄紀士(新潟)が600UPの好スタートを切った。上田慧維(愛知)が31ピン差で2位につけた。すると後半、船木は705を叩き出して周囲を驚かせた。6ゲームで1308までスコアを伸ばし、2位に浮上した近藤泰介(北海道)には146ピン差をつけた。船木は決勝でもしかりスコアをまとめて588。リードを保って連覇を決めた。

5年生女子の部

前回優勝の河野伊織(香川)が566、同じく準優勝の菅絢音(静岡)が554とし抜け出した。後半は496にまとめた河野が菅との差を広げた。

6年生男子の部

星野礼登(埼玉)が予選前半に742を叩き出した。2位の橋田瑛人(栃木)は2ゲ



4年生女子の部

4年生男子の部

特別指導会

競技に先立ち、今年も特別指導会が開催された。大会に出場する選手だけでなく、3年生以下のキッズボウラーも参加した。プロボウラーやナショナルチームメンバー、総勢15名が指導役として登場し、基本の確認をメインにアドバイスを送った。



山崎地蔵太鼓が小学生にエールを送った



この大会は、一般財団法人地域活性化センターの「スポーツ拠点づくり推進事業」の支援を受けて実施しています。

.....
この大会では、奥山花蓮(三重)が3年連続での優勝を果たした。完全制覇は男女を通じて初の快挙。6年生男子の部では星野礼登(埼玉)が大会新記録をマークした。アベレージ253は小学生としては脅威的なスコアで、小学生間での競技熱の高まりが見受けられる。

全日本小学生競技大会は、プロボウラーやナショナルチームメンバーが先生役を務める「特別指導会」と、4・5・6年生が学年・男女別で競い合う「競技大会」の2部構成。
競技大会の予選は6ゲーム(前半各3ゲーム)を行い、上位10名が決勝に進出。さらに3ゲームを投球し、9ゲームの合計スコアで順位を決定する。

ガイド

プロでもアマでも
賞金総額 **3,000万円!!** “栄光”を掴み取れ!!

三団体共催
公益社団法人 日本プロボウリング協会
公益財団法人 JAPAN BOWLING
日本ボウラーズ連盟

SPORTS ENTERTAINMENT
ROUND1

GRAND CHAMPIONSHIP
BOWLING
JAPAN 2025

FINAL 2025

開催日 **2025.11.8 SAT**

会場 **ラウンドワンスタジアム 堺中央環状店**

特別協賛
株式会社ラウンドワンジャパン

小学生特別指導会兼 第15回全

5年生男子の部



5年生女子の部



6年生男子の部



6年生女子の部



1ゲーム分ものリードを作った星野だが、決勝でもそのまのペースで打ち続けた。257・246・259と大人数負けのスコアメイクで、アベレージは50を超え、4年生・5年生と準優勝が続いた星野は、大記録を打ち立てて初優勝を決めた。

6年生女子の部

池宮城さくら(沖縄)が20でスタートを切り、前半51をマークした。2位の浅井優月(愛知)も538で続いた。浅井は後半も533でとトップに立った。奥山花



HG(左から)山田、西川、河野、船木、梅垣、橋田

第15回全日本小学生ボウリング競技大会 成績表

参加：142名

2024年7月25日(木)～26日(金)

会場：愛知・稲沢グランドボウル

《小学6年生男子の部(9G)》

40名

優勝	星野礼登(埼玉県)	川口市立前川東小学校	*2,279
準優勝	橋田瑛人(栃木県)	宇都宮市立姿川第二小学校	1,947
第3位	前原琉空(群馬県)	伊勢崎市立北第二小学校	1,918
第4位	田中陽翔(栃木県)	下野市立石橋北小学校	1,787
第5位	横堀 旬(群馬県)	伊勢崎市立三郷小学校	1,768
第6位	皆川大芽(東京都)	Global Indian International School Tokyo	1,759
第7位	新實堅信(愛知県)	岡崎市立根石小学校	1,731
第8位	藤島澄哉(愛知県)	瀬戸市立幡山東小学校	1,731
第9位	福山雄大(愛知県)	名古屋市立矢田小学校	1,713
第10位	北村良嗣(東京都)	港区立港南小学校	1,694
ハゲム	橋田瑛人(栃木県)	宇都宮市立姿川第二小学校	299

《小学5年生男子の部(9G)》

25名

優勝	船木雄紀士(新潟県)	上越市立直江津小学校	1,896
準優勝	小川颯斗(栃木県)	さくら市立氏家小学校	1,662
第3位	近藤奏介(北海道)	札幌市立開成小学校	1,638
第4位	横島海翔(長野県)	長野市立篠ノ井西小学校	1,626
第5位	上田慧維(愛知県)	名古屋市立小幡北小学校	1,585
第6位	駒井康汰(山梨県)	甲斐市立竜王北小学校	1,554
第7位	齋藤 匠(茨城県)	那珂市立菅谷東小学校	1,499
第8位	水田隆弘(埼玉県)	鶴ヶ島市立鶴ヶ島第一小学校	1,489
第9位	片山朝陽(愛知県)	あま市立秋竹小学校	1,468
第10位	野村貴志(埼玉県)	さいたま市立常盤小学校	1,466
ハゲム	船木雄紀士(新潟県)	上越市立直江津小学校	247

《小学4年生男子の部(9G)》

28名

優勝	奥田大和(岐阜県)	大垣市立小野小学校	1,671
準優勝	西川佳徳(静岡県)	焼津市立焼津西小学校	1,649
第3位	鳴海奏汰(北海道)	千歳市立みどり台小学校	1,622
第4位	中山璃功斗(愛知県)	瀬戸市立西陵小学校	1,615
第5位	和智光星(東京都)	府中市立第六小学校	1,532
第6位	藤井弦之介(埼玉県)	蕨市立中央東小学校	1,502
第7位	畑中 伶音(熊本県)	合志市立南ヶ丘小学校	1,496
第8位	西嶋航佑(熊本県)	合志市立西合志南小学校	1,483
第9位	岡田啓佑(群馬県)	熊谷市立熊谷西小学校	1,381
第10位	大山愛奈斗(沖縄県)	沖縄市立宮里小学校	1,320
ハゲム	西川佳徳(静岡県)	焼津市立焼津西小学校	248

《小学6年生女子の部(9G)》

26名

優勝	奥山花蓮(三重県)	大津市立田上小学校	1,646
準優勝	浅井優月(愛知県)	岡崎市立井田小学校	1,604
第3位	長島心美(茨城県)	取手市立寺原小学校	1,580
第4位	山内優空(兵庫県)	西宮市立今津小学校	1,518
第5位	梅垣美陽(京都府)	福知山市立昭和小学校	1,514
第6位	森島未華(愛知県)	安城市立作野小学校	1,500
第7位	池宮城さくら(沖縄県)	読谷村立古堅南小学校	1,480
第8位	伊藤 海(長野県)	中野市立中野小学校	1,421
第9位	松本果依(岩手県)	盛岡市立向中野小学校	1,395
第10位	関口希彩(茨城県)	取手市立寺原小学校	1,373
ハゲム	梅垣美陽(京都府)	知山市立昭和小学校	221

《小学5年生女子の部(9G)》

15名

優勝	河野伊織(香川県)	高松市立香西小学校	1,613
準優勝	菅 絢音(静岡県)	焼津市立港小学校	1,480
第3位	高山愛莉(群馬県)	太田市立中央小学校	1,437
第4位	大川愛花理(北海道)	千歳市立北陽小学校	1,261
第5位	比留川 遥(群馬県)	高崎市立西小学校	1,234
第6位	吉見沙羅(神奈川県)	鎌倉市立西鎌倉小学校	1,217
第7位	相澤 凜(神奈川県)	藤沢市立辻堂小学校	1,212
第8位	畑中 梨杏(熊本県)	合志市立南ヶ丘小学校	1,211
第9位	山口藍璃(岩手県)	盛岡市立仙北小学校	1,203
第10位	楡井文菜(群馬県)	高崎市立倉賀野小学校	1,128
ハゲム	河野伊織(香川県)	高松市立香西小学校	210

《小学4年生女子の部(9G)》

8名

優勝	山田茉莉愛(神奈川県)	川崎市立子母口小学校	1,456
準優勝	石井陽南(東京都)	八王子市立横山第一小学校	1,449
第3位	豊田 琴音(愛知県)	尾張旭市立東栄小学校	1,389
第4位	下地 愛(沖縄県)	那覇市立真嘉比小学校	1,314
第5位	入山 桜子(群馬県)	高崎市立西部小学校	1,176
第6位	西條月乃(徳島県)	吉野川市立川島小学校	1,141
第7位	谷口陽花(大阪府)	伊丹市立南小学校	999

ハゲム	山田茉莉愛(神奈川県)	川崎市立子母口小学校	220
-----	-------------	------------	-----

*...大会新記録

全日本中学・高校選手権大会



JOCジュニアオリンピックカップ第49回全日本高校選手権大会と、文部科学大臣杯第49回全日本中学選手権大会が、7月31日(木)から8月2日(土)にかけて愛知・稲沢グランドボウル(公認No.122・064)で開催された。

高校選手権では、須田風海音(群馬)が2年ぶり2度目の優勝を遂げた。濱崎姫琉(神奈川)は初優勝し、小学・中学・高校の個人タイトルすべてを手にした。

中学選手権では、男子は須田光翼(神奈川)が、女子は松田寿夏(神奈川)が、ともに最終ゲームまでもつれこむ接戦を制して初優勝となった。



岡田有翔選手(左)と住田結萌選手が選手宣誓



高校男子

滝聖也(神奈川)が1回戦に781を叩き出して首位発進した。2位の齋藤航琉(群馬)と3位の須田風海音(群馬)は4マーク差で滝を追った。2回戦では前回優勝の下地良尚(沖縄)が760と打ち上げて、滝との79ピン差を逆転。滝は3位に留まるも37ピンの後れをとった。しかし3回戦でも681と好調の滝はトップを奪い返した。土肥大輔(岡山)が8ピン差、須田も田中と5ピン差で続き、大接戦の様相で決勝戦に突入した。

1ゲーム目に仕掛けたのは須田。2688を打ってトップに立つと、3マークのリードを作った。須田は2ゲーム目も248とし、追

高校女子

1回戦は石井ころ(埼玉)が649、高橋亜子(東京)が647とし1・2位につけた。100ピン近い差をつけられていた中塩美桜(広島)だったが、2回戦では749をマークして一気にトップまで上り詰めた。渡邊陽(広島)も12位から2位に順位を上げたが、中塩とは47ピン差がついた。

3回戦でも中塩は640とし1位通過を決めた。5位につけていた濱崎姫琉(神奈川)は703と打ち上げて、中塩に26ピン差まで追った。この2人が一歩抜けたすかちで決勝戦がスタートした。

濱崎は1ゲーム目に209とし差を9ピン詰めたが、2ゲーム目は中塩が237でリードを広げた。27ピン差で迎えた最終ゲームは、濱崎が245を叩きだして逆転。3年生での初優勝を遂げた。

濱崎は1ゲーム目に209とし差を9ピン詰めたが、2ゲーム目は中塩が237でリードを広げた。27ピン差で迎えた最終ゲームは、濱崎が245を叩きだして逆転。3年生での初優勝を遂げた。

中学男子

小川楓太(栃木)が1回戦で唯一の700P。284を含む732で、2位グループに4マーク差をつけた。その中の一人、中田元輝(東京)が2回戦で712を打って小川を逆転した。すると3回戦では須田光翼(神奈川)が754を叩きだし、13位から一気にトップへ躍り出た。小川は11ピン差で2位をキープし、さらに22ピン差で中田と続いた。

優勝の行方は決勝戦次第。1ゲーム目は須田が227としたのに対し、中田と小川はスコアを伸ばせなかった。2ゲーム目には須田がさらに246と打ち上げた。4位通過の谷内志優(山梨)が235・258と打ち上げて、須田と27ピン差まで追ってきた。小川は244、中田も221とし逆転の望みをつないで迎えた最終ゲーム、須田は237と最後まで打ち切った初優勝を決めた。

JOCジュニアオリンピックカップ

第49回全日本高校ボウリング選手権大会 成績表

2025年7月31日(木)～8月2日(土)

会場：愛知・稲沢グランドボウル

男子235名 女子98名 計333名

《男子(12G)》

優勝	須田 風海音(群馬県)	群馬県立伊勢崎商業高等学校	3年	2,844
準優勝	土肥 大輔(岡山県)	関西高等学校	1年	2,830
第3位	田中 晴翔(静岡県)	静岡県立浜松北高等学校	2年	2,778
第4位	滝 聖也(神奈川県)	湘南工科大学附属高等学校	2年	2,769
第5位	下地 良尚(沖縄県)	沖縄県立首里東高等学校	3年	2,759
第6位	立花 仁貴(京都府)	洛陽総合高等学校	2年	2,751
第7位	横地 優輝(静岡県)	静岡聖光学院高等学校	3年	2,743
第8位	熊沢 絆(東京都)	東京都立八王子拓真高等学校	3年	2,684
ハゲム	富澤 蒼空(青森県)	青森県立弘前工業高等学校	3年	287
バシズ	滝 聖也(神奈川県)	湘南工科大学附属高等学校	2年	781

《女子(12G)》

優勝	濱崎 姫琉(神奈川県)	神奈川県立大和東高等学校	3年	2,592
準優勝	中塩 美桜(広島県)	清水ヶ丘高等学校	1年	2,576
第3位	渡邊 陽(広島県)	広島県立福山工業高等学校	1年	2,444
第4位	網代 羅夢(神奈川県)	神奈川県立大和東高等学校	3年	2,396
第5位	田口 みちる(愛知県)	名古屋経済大学市邨高等学校	1年	2,395
第6位	葛生 愛梨(東京都)	東京都立千歳丘高等学校	2年	2,347
第7位	藤田 妃夏(東京都)	京華女子高等学校	2年	2,324
第8位	高橋 亜子(東京都)	東京都立拝島高等学校	2年	2,314
ハゲム	石井 ころ(埼玉県)	松栄学園高等学校	3年	278
バシズ	中塩 美桜(広島県)	清水ヶ丘高等学校	1年	749

文部科学大臣杯

第49回全日本中学ボウリング選手権大会 成績表

2025年7月31日(木)～8月2日(土)

会場：愛知・稲沢グランドボウル

男子141名 女子69名 計210名

《男子(12G)》

優勝	須田 光翼(神奈川県)	日本大学藤沢中学校	3年	2,716
準優勝	谷内 志優(山梨県)	都留市立都留第二中学校	3年	2,662
第3位	中田 元輝(東京都)	八王子市立城山中学校	3年	2,649
第4位	小川 楓太(栃木県)	さくら市立氏家中学校	1年	2,641
第5位	中川 結雅(埼玉県)	開智中学・高等学校(一貫部)	3年	2,638
第6位	高橋 望(茨城県)	ひたちなか市立勝田第一中学校	3年	2,614
第7位	岩崎 喜成(山口県)	宇部市立神原中学校	2年	2,610
第8位	高林 和志(東京都)	杉並区立西宮中学校	2年	2,574
ハゲム	小川 楓太(栃木県)	さくら市立氏家中学校	1年	284
バシズ	須田 光翼(神奈川県)	日本大学藤沢中学校	3年	754

《女子(12G)》

優勝	松田 寿夏(神奈川県)	海老名市立今泉中学校	2年	2,482
準優勝	浅井 月音(愛知県)	岡崎市立葵中学校	3年	2,478
第3位	関根井 文音(北海道)	札幌市立札幌中学校	2年	2,457
第4位	澤野 澤(京都府)	宇治市立西宇治中学校	3年	2,443
第5位	藤原 彩花(京都府)	宇治市立西小倉中学校	3年	2,442
第6位	奥田 琴弓(山口県)	山口大学教育学部附属山口中学校	3年	2,367
第7位	矢島 翠心(東京都)	渋谷区立笹塚中学校	1年	2,351
第8位	井村 瑠菜(茨城県)	取手市立取手第二中学校	1年	2,304
ハゲム	浅井 月音(愛知県)	岡崎市立葵中学校	3年	263
バシズ	松田 寿夏(神奈川県)	海老名市立今泉中学校	2年	656

中学女子

松田寿夏(神奈川)が3ゲームともプラスに乗せる好投で656



をマーク。1回戦から2位以下に5マーク差をつけた。しかし2回戦では大きくスコアを落としてしまふ。代わってトップに立ったのは関根井文音(北海道)。1回戦の601に続いてこのシリ

須田光翼	日本大学藤沢中3年	神奈川県	15歳
使用ボール	Purple Pearl Urethane Hammer(15p3oz)		
公認ドライバー	平塚久雄	(公認No. 0876-14)	
松田寿夏	海老名市立今泉中2年	神奈川県	13歳
使用ボール	Purple Pearl Urethane Hammer(14p)		
公認ドライバー	坂元 肇	(公認No. 2149-14)	

ガイド

高校・中学生の個人戦最高峰の大会。高校選手権では優勝者にJOCジュニアオリンピックカップが、中学選手権では優勝者に文部科学大臣杯が授与される。

競技内容は2大会共通。予選は3ゲーム×3回戦を行い、決勝戦でさらに3ゲームを投球して12ゲームのトータルピンで優勝を争う。

高校男子で優勝した須田風海音(群馬)は、第47回大会(2023年)にも優勝しており、今回は2度目の制覇。同部門で連覇も含めて2回以上優勝した選手は3人となった。高校女子で優勝の濱崎姫琉(神奈川)は、2022年に全日本中学選

手権、2017年に全日本小学生競技大会(4年生女子)で優勝しており、ジュニアの全日本個人タイトルをすべて獲得となった。過去には水谷若菜選手(愛知)・石田万音選手(兵庫)も3タイトル獲得を果たしている。また第47回大会(2023年)優勝の濱崎りあ選手(神奈川)を姉に持ち、兄弟姉妹で優勝した初のケースとなった。

U22 8th Fukuoka Summer Cup Bowling Tournament 2025 sponsored by STORM

U22 8th Fukuoka Summer Cup Bowling Tournament 2024 sponsored by STORMが8月6日(水)から8日(金)にかけて、福岡・パピオボウル(公認No.140・126)で開催された。22歳以下の選手を対象とした国際オープン大会で、今回は7の国と地域から137名が出場した。予選は4チーム×2回戦を行う。津波古蓮(沖縄)、座

U22・2位 福満亮(長崎)



U22・3位 網代羅夢(神奈川)



吉原正明(学連) 激戦を制す

波政斗(学連)、橋本篤輝(愛知)の3名がアベレージ230台と好投し、4位以下に8マーク超の差をつけて抜けた。準決勝には上位48名が進出し、さらに1ゲームを投球する。津波古はこども927を打って、2位橋本に73ピン差をつけた。決勝に進めるの



準決勝までのスコアをもとに、15歳以下の選手を対象としたU15部門の成績が決定。総合15位に入ったフィリピン人のAndrey Bが優勝し、準優勝は韓国のBae Woo Jin。そのうち11名が日本選手で、韓国のLee Jae Hunがたまたま海外勢として残った。

決勝戦は1ゲームマッチ。1回戦は選手2名が対決するが、予選・準決勝で他を圧倒した津波古、橋本、座波の3名がいきなり姿を消す波乱の展開となった。2回戦では福満亮(長崎)が原理人(愛知)と256対245の激戦の末に勝利した。女子選手として唯一決勝に進出した網代羅夢(神奈川)は、紺谷涼太(学連)に10ピンの僅差で勝利。吉原正明はLeeとの対戦で259を打って快勝し



U15・優勝 Andrey B(フィリピン)



U22上位入賞者(左から)吉原(学連)、福満(長崎)、網代(神奈川)、紺谷(学連)、Lee Jae Hun(韓国)、原(愛知)、津波古(沖縄)、橋本(愛知)



U15入賞(左から)Andrey B(フィリピン)、Bae Woo Jin(韓国)、中塩(広島)、滝沢(神奈川)、Tristan Khoo(シンガポール)、中川(埼玉)、高野(広島)、関根井(北海道)、石井(東京)、須見(北海道)

【U15 結果】

Champion	Andrey B	PHI	2,571
2nd	Bae Woo Jin	KOR	2,504
3rd	中塩美桜	JPN・広島	2,480
4th	滝沢樹	JPN・神奈川	2,475
5th	Tristan Khoo	SGP	2,418
6th	中川結雅	JPN・埼玉	2,415
7th	高野隆太	JPN・広島	2,396
8th	関根井文音	JPN・北海道	1,633
9th	石井喜俊	JPN・東京	1,624
10th	須見颯太	JPN・北海道	1,587

【U22 結果】

Champion	吉原正明	JPN・学連
2nd	福満亮	JPN・長崎
3rd	網代羅夢	JPN・神奈川
4th	紺谷涼太	JPN・学連
5th	Lee Jae Hun	KOR
6th	原理人	JPN・愛知
7th	津波古蓮	JPN・沖縄
8th	橋本篤輝	JPN・愛知
9th	座波政斗	JPN・学連
10th	下地良尚	JPN・沖縄
11th	佐野裕葵矢	JPN・山口
12th	高久大和	JPN・学連

褒賞金と豪華副賞を贈呈

今大会は米国ストーム社と関係ハイ・スポーツ社の特別協賛により開催。ユース世代の選手の成長と活躍を支援する目的で、褒賞金やボウリング用品などの副賞が用意された。またU15部門の入賞者10位までにはボールが贈呈された。

第49回全



高校男子入賞(左から)須田(群馬)、土肥(岡山)、田中(静岡)、滝(神奈川)、下地(沖縄)、立花(京都)、横地(静岡)、熊沢(東京)

須田風海音	県立伊勢崎商業高3年
全日本ユースナショナルチームメンバー	17歳
使用ボール	The One Urethane(15p3oz)
公認ドライバー	中西 豊 (公認No. 1927-10)
濱崎姫琉	県立大和東高3年
使用ボール	Fireball(15p)
公認ドライバー	平塚久雄 (公認No. 0876-14)

い上げようとする2位集団に隙を与えず、最終ゲームは土肥が27で追ってきたが、須田は38として14ピン差で逃げ切り。2年ぶりに高校王者に返り咲いた。



高校女子入賞(左から)濱崎(神奈川)、中塩(広島)、渡邊(広島)、網代(神奈川)、田口(愛知)、葛生(東京)、藤田(東京)、高橋(東京)



中学男子入賞(左から)須田(神奈川)、谷内(山梨)、中田(東京)、小川(栃木)、中川(埼玉)、高橋(茨城)、岩崎(山口)、高林(東京)



中学女子入賞(左から)松田(神奈川)、浅井(愛知)、関根井(北海道)、澤野(京都)、藤原(京都)、奥田(山口)、矢島(東京)、井村(茨城)



高校(左から)女子HG石井、女子HS中塩、男子HG富澤、男子HS滝



中学(左から)女子HG浅井、女子HS松田、男子HG小川、男子HS須田

て16ピン差の2位。関根井と松田もアベレージを200に乗せた。浅井は201にまとめたが、松田がこども247とし、4ピン差での逆転優勝を果たした。

わたSHIGA 輝く国スポ 組合せ抽選会を開催

今年の国民スポーツ大会（わたSHIGA輝く国スポ）ボウリング競技は9月27日（土）から滋賀県彦根市のラビュタボウル彦根（公競No.125・025）で開催されます。レーン配当を決定する組合せ抽選会が、8月25日（月）に開催されました。

全10種目のレーン配当は国スポを主催する（公財）日本スポーツ協会の加藤弘和国スポ推進部長による厳正なくじ引きで決定しました。これで国スポへの準備もいよいよ大詰め。出場する各都道府県チームも強化のラストパ

ボウリング競技会
組合せ抽選会



We are Team JAPAN ナショナルチーム通信

第22回アジアユース選手権大会

日本 銀1・銅2獲得



第22回アジアユース選手権大会が8月20日（水）から28日（木）にかけてマレーシアで開催されました。アジア14の国と地域から20歳以下の代表選手

が集結。日本はナショナルチームとユースナショナルのメンバーから選抜した男女各4名でチームを編成して出場しました。

男子ダブルス戦で須田風海音（群馬）・五木女瑛太（埼玉）ペアが、女子ダブルス戦で近藤真樹（群馬）・渡辺希唯（学連）ペアが、ともに銅メダルを獲得しました。

マスターズ戦には4名が進出を果たし、須田が常に上位で試合を展開。銀メダルを獲得しました。

【詳細は次号】

2025年度 各連盟公認競技会・リーグ登録数

地区名	連盟	2025年8月31日 現在		
		競技会 公認件数	開催実数	リーグ 公認件数
北海道地区	北海道	26	50	5
	青森	28	34	
	岩手	23	43	
	宮城	30		
	秋田	17	17	
東北地区	山形	17		
	福島	19		
	茨城	17		
	栃木	16	16	
	群馬	14	36	7
関東地区	埼玉	35	53	1
	千葉	24	42	13
	東京	16	36	13
	神奈川	29	22	13
	山梨	16	4	
北信越地区	新潟	17	20	
	長野	17	36	1
	富山	22	45	1
	石川	17	15	2
	福井	8	1	
東海地区	静岡	16	32	2
	愛知	45	88	
	三重	34	27	
	岐阜	18	24	
	滋賀	30	44	
関西地区	京都	43	85	8
	大阪	37	43	3
	奈良	22		10
	和歌山	19	1	
	鳥取	14	5	
中国地区	岡山	8	7	
	広島	23	24	4
	山口	11	7	
	山形	13	12	10
	香取	10	17	
四国地区	徳島	11	13	1
	愛媛	13	3	3
	高松	1	4	
	福岡	20	28	40
	佐賀	5	3	3
九州・沖縄地区	長崎	7	12	16
	熊本	3	2	10
	大分	12		12
	宮崎	18	21	7
	鹿児島	21	36	
全日本学生連合	沖縄	14	10	4
	総計	20		1
総計		879	1,018	177

▽9月27日（土）10月3日（金）
第79回国民スポーツ大会（わたSHIGA輝く国スポ）

▽10月25日（土）27日（月）
ジュニアジャパン選抜選手強化合宿 静岡・赤沢ボウル

▽9月5日（金）〜7日（日） 第58回全日本新人選手権大会 東京・品川プリンスホテルボウリングセンター

▽9月13日（土） J.B公認第3種審判員認定会（オンライン・集合形式） 東京・貸教室

▽9月19日（金）〜22日（月） 日本スポーツマスターズ2025 愛媛大会 愛媛・キスケKIT

イベント カレンダー 9月&10月

▽9月5日（金）〜7日（日） 第58回全日本新人選手権大会 東京・品川プリンスホテルボウリングセンター

▽9月13日（土） J.B公認第3種審判員認定会（オンライン・集合形式） 東京・貸教室

▽9月19日（金）〜22日（月） 日本スポーツマスターズ2025 愛媛大会 愛媛・キスケKIT



義務研修会を開催

J.B公認ドリラー義務研修会が8月4日（月）に愛知・稲沢グラントボウルで開催されました。

公認ドリラー有資格者は、有資格者研修会を3年間に1回以上受講する必要があります。最新のボールとドリルに関する情報やルールについて、J.B.認証部会の日

J.B公認ドリラー

義務人部会長、棚橋孝太郎氏が解説しました。

賛助会員・特別法人・個人会員紹介

〈2025年8月10日以降登録者〉

【特別法人会員】

- ▽福島県 株式会社菅田代表取締役菅田幸男、株式会社オギノ（代表取締役狹野誠也）、丸とワック株式会社（代表取締役安彦浩之、第一温調工業株式会社）
- ▽山口県 江藤孝、工藤知朗（代表取締役本多修一）

【特別個人会員】

- ▽青森県 小比類巻正昭
- ▽福島県 伊藤寛（J.B.評議員、連盟会長）、垣内泰（連盟理事長）、齋藤憲治（同副理事長）、根本長徳（同副理事長）

〈順不同・敬称略〉

2025年度 J.B公認ゲーム数登録状況	
〈2025年4月1日〜8月15日受付分〉	
【男子】	①和田繁正（香川）325
②原口宏史（宮崎）302	③安西孝太郎（香川）296
④森西誠（香川）257	⑤石井浩次（広島）225
⑥永山順（石川）207	⑦越前哲男（富山）198
⑧鈴木浩二（広島）189	⑨西谷健（香川）188
⑩板垣幸吉（静岡）175	⑪酒井伸（福岡）175
⑫青木稔（香川）174	⑬野口謙介（福岡）174
⑭境明（富山）170	⑮上田幸男（福岡）169
⑯村石智康（長野）164	⑰播磨雄輔（京都）164
⑱福島晃己（徳島）164	⑲小林深志（長野）161
⑳長谷川星風（愛知）161	㉑坂本和江（福岡）129
【女子】	①木村美実子（香川）192
②森下美紀（京都）180	③藤原彩花（京都）162
④澤田信帆（徳島）160	⑤牧雅子（福岡）156
⑥奥享子（京都）153	⑦森脇眞理子（京都）151
⑧安田柚依（京都）149	⑨澤野淳（京都）149
⑩小林瑞恵（長野）143	⑪星合美香（徳島）142
⑫森田里子（群馬）141	⑬田口みちる（愛知）140
⑭吉野弘子（千葉）135	⑮小泉穂乃佳（長野）135
⑯門田裕美（広島）135	⑰中田彩花（北海道）129
⑱久慈順子（岩手）129	⑲高橋亜子（東京）129
⑳武藤美咲（徳島）129	㉑阪本和江（福岡）129

これからもっと、私はスポーツを楽しむんだ。

卓球歴24年。バスケ歴1日。卓球の200倍もの重さがあるボールは、なかなか言うことを聞いてくれない。

それでも、体を動かすだけで気持ちいい。初対面でもあっという間に仲間になれる。競技人生での楽しさとは違う、スポーツの楽しさに出会えた。

スポーツを始める人も、楽しむ人も、すべての人のために、スポーツくじの収益は使われています。

スポーツくじは、スポーツと人を育てる仕組み。

日本スポーツマスターズ 2025愛媛大会 ボウリング競技

2025.9.19金-22日

主 催 公益財団法人 日本スポーツ協会 愛媛県
公益財団法人 愛媛県スポーツ協会
公益財団法人 JAPAN BOWLING 松山市

主 管 愛媛県ボウリング連盟

キスケKIT

〒790-0066 松山市宮田町4
TEL 089-998-3000